

世界人と成るべし

海田町名誉町民 織田幹雄氏をたどる

第11回

今に伝わる織田幹雄さん

1928年にオリンピックアムステルダム大会で金メダルを獲得した織田幹雄さん。80年以上経過した今でも織田さんの生き方、考え方は私たちに受け継がれています。今回は、海田東小学校の授業から、織田さんが私たちに遺したものをみていきます。

「海田町の誇り、世界人『織田幹雄』をパネルで紹介しよう」

海田東小学校の国語の授業において、5年生の皆さんが、織田さんについての展示パネルを作成しました。展示パネルには、「著書」「新聞記事」「日記」などから学んだ織田さんの生き方や考え方が紹介されています。児童の皆さんは、文章を著書や記事からそのまま引用するのではなく、児童それぞれの生き方に、また、生活の中に生かせるような言葉で表現しています。

パネルの作成から

織田さんは、小学校の5年生の時の担任「檜垣先生」、中学校の体育教師「宇佐美先生」、オリンピック陸上競技講習会の講師「野口先生」、国泰寺中学校の「弘瀬校長先生」、早稲田大学での「南部さん」「山本先生」

など、数え上げたらきりがなくくらいたくさんの「出会い」がありました。この出会いが日本人初のオリンピック金メダリストを誕生させたのではないかと。パネルにはこのように児童が感じたことなどが記されています。

織田さんに出会うことはできませんが、児童はパネルの作成を通して、織田さんから生き方・考え方を学んだようです。児童一人ひとりに今までもたくさんの出会いがあり、そして、その出会いがこれまでの自分を作ってくれたことを感じたようでした。今回の織田さんとの出会いが、これからの児童それぞれの成長につながるのではないのでしょうか。

形として伝わる織田幹雄さん

現在、海田町には、さまざまな形で織田さんが登場しています。

す。

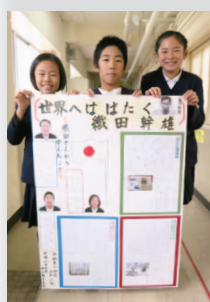
2007年に海田町教育委員会が制作した「海田かるた」や2005年からシルバー人材センターで作られている「海田名所煎餅」には織田さんが跳ぶ姿が描かれています。かいた七夕さん実
行委員会が
作ったお酒
は、織田さん
にちなみ
「ほっぶす
てつぶじゃ
んぶ」とい
う名称です。



▲お酒「ほっぶすてつぶじゃんぶ」



▲海田名所煎餅
◀海田かるた



海田東小学校5年生の児童が作成したパネル、年表、15メートル21センチの足跡などをふるさと館で展示します。
「海田町の誇り、世界人『織田幹雄』をパネルで紹介」
海田東小学校5年生
期間◆3月26日(土)～5月8日(日)
場所◆ふるさと館2階企画展示室

広報かいた3月号(No.585)

平成28年3月1日発行

発行／海田町

編集／企画部企画課

〒736-8601 広島県安芸郡海田町上町14番18号
TEL(082)826-6112 FAX(082)826-6103

ホームページ <http://www.town.kaita.lg.jp/>
(携帯版) <http://www.town.kaita.lg.jp/mobile/>
E-mail kikaku@town.kaita.lg.jp



印刷／レーファース
株式会社